

ひと

ダウン症の弟を主役にした映画を撮った監督

おし だ ころすけ
押田 興将 さん(43)



心神喪失者ノ行為ハ之ヲ罰セス
「刑法39条があるから障害者は
ムシヨに入らなくていい」と詐欺
師にだまされ、ダウン症と発達障
害の兄弟が泥棒の旅に出る。公開
中の「39(サンキュー)窃盗団」。
主役はダウン症の弟清剛さん(35)
Ⅱ下。もう1人の弟大さん(37)Ⅱ
中Ⅱが知的障害者を演じた。
8人きょうだいの長男。10代は
家でも学校でも暴れまくり、みん
なに嫌われた。「話せるのは7番
目の弟だけ。キヨだけが笑顔で自
分を受け入れてくれた」。高校は
数日で中退。でも、清剛さんの養
護学校の遠足や運動会にはいつも
付き添った。

「清剛さんには夢のために努力
する権利がある」。養護学校の進
路相談会で先生が言った。「お前
も自分のために努力しろ」と言わ
れたように聞こえた。
日本映画学校(現日本映画大
学)を卒業し、故・今村昌平監督
の最後の助監督に。「映画は人を
描くものだ」と教えられ、「人と
は何だ」と自問してきた。初監督
の今作で、障害者は詐欺師にだま
され犯罪を犯し、売春させられ殴ら
れる。犯罪を助長する、との評も
ある。「ただ彼らの直面する現実
と、それでも明日に絶望しない強
さをコメディで撮りたかった」
ラストシーンは、15年前から決
めていた。「幸せとは何か。その
答えは人それぞれいいんだと、
弟の笑顔が教えてくれます」

文 斎藤寛子 写真 山本和生